

4. 資 料

北海道演習林における学生実習

中島 皇

はじめに

演習林の大きな使命の一つに実習があることはよく知られている。戦後作られた演習林設置基準にも「林学科が置かれている大学に演習林を設置する。」とある。しかし、ここ数年で大学の改組が再び進み、農学部自体が名前を変えた大学も多く、林学科の名称はほぼ全ての大学でその名前を変えた。京都大学農学部でもかつての10学科は分解され、3学科に再編された。林学科を対象としていた演習林実習も取りあえずは生物環境科学実習Ⅱ、Ⅳとなったが、その内容及び実施形態については十分な議論と検討が必要であり、その基礎資料として今回実習の記録をまとめることにした。

1977年に始まった北海道演習林を最終目的地とする研修見学及び実習は今回で22回(1978年はアルバイトのみ、1987年は二度(3回生版、2回生版)実施)を数えることになる。この実習は北海道演習林の存在意義を高めると同時に、日本国内の有名な森林、林業地や研究機関、国有林、企業を訪れて、林学科の学生たちが文献やマスメディアからのみでなく、知識や技術を直に自分の肌で感じることを目的に始められたと思われる。それまでにも演習林を利用した実習^{1) 2)}は行われていたが、これらは林学科の各講座や担当教官が主体となるもので、地方演習林が主体となって行われた実習はこれが初めてである。

見学旅行コースと実習内容

開始当初は見学旅行、演習林実習およびアルバイトの三つメニューがあり、対象は林学科3回生であった。見学旅行の引率は林学科の教授と助手そして演習林の助手が担当し、演習林実習の指導と補助は北海道演習林の教官、技官、事務官が総力を挙げてあっている。この実習は1980年から正式に演習林実習として1単位が与えられるようになった。しかし、1987年には3回生の夏季実習による負担が大き過ぎるとの配慮から2回生配当になり、この年は2回生と3回生の2度の実習を行っている。1989年からはそれまで正課ではなかった前半部の見学旅行も含めて2単位となった。この年、白糠区にも宿泊施設ができ、実習が可能になったため、1989年、1990年には標茶、白糠の両区で並行して実習を行う試みがなされた。また、1994年からは名称が演習林実習Ⅰとなったが、これはこの実習とは別に冬季にも実習(1991年度から)が試みられ、1995年の冬季(1994年度)からは正課として1単位が認められ、演習林実習Ⅱとなったためである。

各年度の実習内容を以下の表記方法によって示す。また、参加人員の一覧が表1である。

年度 引率教官等
北海道演習林教官等
参加学生等人数

見学旅行 日程 宿泊所 (見学場所)

演習林実習 日程 内容

演習林アルバイト 期間

1977 中村一教授
和田茂彦教授、真鍋逸平助手、竹内典之助手

1978 無し
和田茂彦教授、竹内典之助手
学生等(混成)

7/31 標茶集合

8/1~12 演習林実習・アルバイト
天然林の林分構造調査・試験研究補助

8/12または13 解散

1979 堤利夫教授、佐々恭二助手、瀧本義彦助手
和田茂彦教授、竹内典之助手、大島誠一助手、北尾邦伸助手
学生等16名

見学旅行

7/16 京都—木曾福島 国民宿舎 (木曾ヒノキ林業地、赤沢自然休養林)
7/17 上松—上山田 山恵荘 (美ヶ原、霧ヶ峰の高山帯森林植生)
7/18 上山田—秋田 蒼林寮
7/19 秋田—五城目 町民センター (仁別休養林、能代製材所、水沢国有林)
7/20 五城目—青森 八甲田山荘 (五城目合板工場、秋田スギ林)
7/21 青森 青函連絡船 (ヒバ択伐林)
7/22 函館—標茶 標茶区

演習林実習

7/23~29 演習林実習・アルバイト

1980 中村一教授、吉田鐵也助手、岡部宏秋助手
和田茂彦教授、竹内典之助手、大島誠一助手、北尾邦伸助手
学生等18名

見学旅行

7/15 京都発 日本海3号
7/16 東能代—二ツ井 天神貯木場 (水沢保護林、小阿仁製品事業、天神貯木場)
7/17 二ツ井—酸ヶ湯 八甲田山荘 (アオモリトドマツ生育地)
7/18 酸ヶ湯—青函連絡船 船中 (ヒバ択伐林)
7/19 函館—富良野 東大演習林 (東大演習林)
7/20 富良野—標茶 標茶区

演習林実習

7/21~23 演習林実習

7/24~29 演習林アルバイト

1981 川那辺三郎教授、酒井徹朗助手、安藤信助手
山本俊明助教授、竹内典之助手、大島誠一助手、北尾邦伸助手
学生等15名

見学旅行

7/22 京都発 日本海3号
7/23 東能代—青森 青函連絡船 (秋田営林局管内)
7/24 函館—札幌 清楓荘 (定山溪営林署管内)
7/25 札幌—旭川 大雪荘 (層雲峡、黒岳)
7/26 旭川—標茶 標茶区

演習林実習

7/27~29 演習林実習

演習林アルバイト

7/30~8/1 造林地手入れ(つる切り、除伐)

1982 半田良一教授、鈴木雅一助手、真鍋逸平助手
山本俊明助教授、北尾邦伸助手、岡部宏秋助手
学生等23名

見学旅行

7/20 京都—穴水 輪島林業研修センター (能登アテ林業地)
7/21 輪島—秋田 秋田営林署蒼林寮
7/22 秋田—東能代 国民年金センターのしろ (仁別国民の森、製材工場、集成材工場)
7/23 東能代—大畑 薬研大畑営林署宿舎 (銘木センター)
7/24 大間—函館 函館市共済施設 (下北半島ヒバ林)
7/25 函館—標茶 標茶区

演習林実習

7/26 標茶区 樹木実習(1林班)
7/27 白糠区 樹木実習(4林班)
7/28 標茶区 天然林調査(6・7・10林班)

演習林アルバイト

7/29~

1983 武居有恒教授、芝正己助手、藤原三夫助手
山本俊明助教授、北尾邦伸助手、岡部宏秋助手
学生等20名

見学旅行

7/18 京都—立山 山野スポーツセンター (称名川流域、弥陀ヶ原・室堂、千寿ヶ原)
7/19 立山—富山 高志会館 (建設省立山砂防工事事務所、砂防軌道、立山カルデラの砂防工事)
7/20 富山—青森 グリーン会館
7/21 青森—大畑 大畑営林署楽山荘 (八甲田山)
7/22 大間—函館 芳明荘 (大畑施業実験林、恐山)
7/23 函館—標茶 標茶区

演習林実習

7/24 パイロットフォレスト、屈斜路湖周辺見学
7/25 標茶区 林内見学、樹木実習(7林班)
7/26 白糠区 樹木実習(3・4林班)
7/27 標茶区 天然林調査(8・11林班)

演習林アルバイト

7/28~8/3

1984 和田茂彦教授、川村誠助手、丸山宏助手
山本俊明助教授、岡部宏秋助手、山田容三助手
学生等23名

見学旅行

- 7/10 京都—秋田 秋田営林署蒼林寮
- 7/11 秋田—青森 青函連絡船（水沢参考林、能代木材コンビナート）
- 7/12 函館—名寄 北大雨竜演習林
- 7/13 名寄—札幌 清楓荘（北大雨竜演習林）
- 7/14 札幌 清楓荘（国立北海道林木育種場、野幌森林公園、クローネ会懇親会）
- 7/15 札幌—標茶 標茶区

演習林実習

- 7/16 標茶区 森林計測実習
- 7/17 標茶区 森林計測実習
- 7/18 標茶区 樹木実習
- 7/19 白糠区 樹木実習
- 7/20 パイロットフォレスト等見学
- 7/21 データ整理等、午後解散

演習林アルバイト

7/22～27

1985 赤井龍男助教授、白幡洋三郎助手
赤井龍男助教授、岡部宏秋助手、山田容三助手
学生等16名

見学旅行

- 7/15 京都—上諏訪 諏訪湖荘（赤沢自然休養林）
- 7/16 上諏訪—長野 静林荘（八ヶ岳・亜高山帯林）
- 7/17 長野—青森 青函連絡船（鬼無里）
- 7/18 函館—札幌 清楓荘（国立北海道林木育種場、野幌森林公園、クローネ会懇親会）
- 7/19 札幌—音威子府 北大中川演習林（北大中川演習林）
- 7/20 音威子府—旭川 大雪荘（旭川市内の緑地・公園）
- 7/21 旭川—標茶 標茶区（網走市内の緑地・公園）

演習林実習

- 7/22 白糠区 林内見学、本州製紙
- 7/23 摩周湖、屈斜路湖周辺国有林
- 7/24 標茶区

演習林アルバイト

7/25～

1986 古野東洲助教授、古谷士郎助手
赤井龍男助教授、山田容三助手
学生等18名

見学旅行

7/15 京都発 日本海1号
7/16 青森—青函連絡船 船中 (ヒバ林、加工場)
7/17 函館—札幌 清楓荘 (国立北海道林木育種場、野幌森林公園、開拓記念館)
7/18 札幌—名寄 北大雨竜演習林 (北大雨竜演習林)
7/19 雨竜—旭川 大雪荘 (北大雨竜演習林)
7/20 旭川—標茶 標茶区 (小清水原生花園)

演習林実習

7/21 白糠区 林内見学、植生観察、十條製紙
7/22 標茶区 林内見学、植生観察、天然林の生長解析(7林班)
7/23 摩周湖、弟子屈営林署松川施業林、屈斜路湖畔アカエゾマツ林、砂湯
7/24 解散

演習林アルバイト

7/24~28

1987 吉村健次郎助教授、伊藤太一助手

① 赤井龍男助教授、山田容三助手、松下幸司助手
学生等12名

見学旅行

7/7 秋田駅集合 秋田県林業センター (秋田県林業センター)
7/8 秋田周辺—青函連絡船 船中 (太平山ブナ林、マタギ資料館)
7/9 函館—札幌 定山溪温泉営林署豊林荘 (定山溪周辺の風致林施業)
7/10 札幌—富良野 東大北海道演習林セミナーハウス (東大北海道演習林)
7/11 富良野—釧路 釧路郵政会館 (東大北海道演習林)
7/12 釧路—標茶 標茶区 (釧路市立博物館、釧路湿原)

演習林実習

7/13 白糠区 林内見学、植生観察、十條製紙
7/14 パイロットフォレスト、弟子屈営林署管内天然林
7/15 標茶区 林内見学、天然林調査(7林班1-6プロット)、テスト
7/16 解散

1987 中村一教授、北尾邦伸助手

② 赤井龍男助教授、山田容三助手、松下幸司助手
学生等19名

見学旅行

7/16 札幌周辺(森林公園駅集合) 清楓荘 (林木育種場、野幌森林公園、開拓記念館)
7/17 札幌—名寄 北大雨竜演習林 (北大雨竜演習林)
7/18 雨竜—ウトロ 国民宿舎桂田(ホッパツ)
7/19 知床 峰浜自然休養村センター (国有林伐採現場、ナショナルトラスト)
7/20 斜里—北見 北見営林支局林友寮 (斜里町役場、北見営林支局)
7/21 北見—標茶 標茶区 (置戸照査法林、阿寒国立公園、前田一步園)

演習林実習

7/22 白糠区 林内見学、植生観察、本州製紙
7/23 標茶区 林内見学、森林調査(10林班天然林動態調査区42プロット)
7/24 パイロットフォレスト、テスト
7/25 解散

1988 有木純善教授、窪田順平助手
和田茂彦教授、山田容三助手、松下幸司助手
学生等17名

見学旅行

- 7/11 札幌集合 清楓荘 (林木育種場、野幌森林公園、札幌クローネ会と懇親会)
7/12 札幌—問寒別 北大天塩演習林
7/13 問寒別 北大天塩演習林 (北大天塩演習林、サロベツ湿原、海岸林、宗谷岬)
7/14 問寒別—旭川 大雪荘 (北大中川演習林内の大型伐倒・伐出現場)
7/15 旭川 大雪荘 (道立林産試験場、山陽国策パルプ旭川工場、国木林業チップ工場、山陽国策パルプ社有林にて大型伐倒・伐出現場)
7/16 見学旅行解散

演習林実習

- 7/17 夕刻 標茶区宿舎集合 講義(和田)「北海道の森林について」
7/18 標茶区 林内見学、植生観察、講義(松下)「北米の林業・木材業あれこれ」、(山田)「欧州の林業及び森林利用学」
7/19 白糠区 林内見学、植生観察、札幌ベニヤ工場、エゾシカ害調査法
7/20 パイロットフォレスト、標茶町郷土館、小論文
7/21 解散

1989 神崎康一教授、山中典和助手
和田茂彦教授、伊藤太一助手、松下幸司助手
学生等17名

演習林実習(見学旅行)

- 7/10 京都発 日本海1号
7/11 函館—札幌 清楓荘 (札幌クローネ会懇親会)
7/12 札幌—旭川 大雪荘 (野幌森林公園、開拓記念館)
7/13 旭川 大雪荘 (山陽国策パルプ・伐出現場)
7/14 札幌—名寄 北大雨竜演習林 (北大雨竜演習林)
7/15 雨竜—旭川 大雪荘 (ユーカー館、旭川営林支局見本林)
7/16 見学旅行解散

旭川—網走—標茶 標茶区

旭川—札幌—白糠 白糠区

演習林実習(北海道演習林)

- 7/17 標茶区 林内見学、植生観察、弟子屈営林署管内国有林見学
白糠区 林内見学、植生観察、十條製紙、釧路湿原 標茶区へ
7/18 パイロットフォレスト、釧路湿原、本州製紙、白糠区へ
パイロットフォレスト、標茶区 林内見学、植生観察
7/17 白糠区 林内見学、植生観察、森林調査、レポート
森林調査、弟子屈営林署管内国有林見学、レポート
7/18 解散

演習林アルバイト

7/20~21、24~28

1990 山本俊明助教授、真鍋逸平助手、鈴木保志助手
伊藤太一助手、寄元道德助手
学生等20名

演習林実習(見学旅行)

- 7/9 札幌集合 清楓荘 (札幌クローネ会懇親会)
- 7/10 札幌周辺 定山溪温泉営林署豊林荘 (野幌森林公園、札幌森林技術センター、定山溪国有林)
- 7/11 札幌—旭川 大雪荘 (山陽国策パルプ・留萌近郊の伐出現場)
- 7/12 旭川—音威子府 北大中川演習林 (北大中川演習林)
- 7/13 中川—足寄 九大北海道演習林 (美瑛の丘)
- 7/14 足寄—標茶 標茶区・白糠区 (九大北海道演習林(見学旅行終了)、オンネトー、阿寒湖)

演習林実習(北海道演習林)

- 7/15 標茶区 林内見学、植生観察、自由行動
白糠区 林内見学、植生観察、自由行動
- 7/16 白糠区 林内見学、植生観察、釧路湿原、多和平
白糠区 森林調査
- 7/17 パイロットフォレスト、摩周湖、屈斜路湖、硫黄山
パイロットフォレスト、標茶区 林内見学、植生観察
- 7/18 標茶区 森林調査、レポート
釧路湿原、摩周湖、屈斜路湖、レポート

1991 岩坪五郎教授、高柳敦助手
川那辺三郎教授、伊藤太一助手、寄元道德助手
学生等17名

演習林実習(見学旅行)

- 7/7 能代集合
 - 7/8 能代—青森 車中 (白神山地生態系保護地域、二鮎水沢スギ天然生林学術参考保護林)
 - 7/9 青森—札幌 清楓荘 (野幌森林公園、開拓記念館)
 - 7/10 旭川 大雪荘 (昭和木材KK、林産試験場、旭川営林支局、山陽国策パルプ工場)
 - 7/11 旭川 大雪荘 (旭川21世紀の森、インテリアセンター)
 - 7/12 旭川—斜里 (北見営林支局、知床自然観察教育林)
 - 7/13 斜里 民宿おやじの家 (斜里町自然センター)
 - 7/14 斜里—標茶 標茶区 (小清水原生花園、藻琴山展望台、川湯ビジターセンター、摩周湖)
- 演習林実習(北海道演習林)
- 7/15 パイロットフォレスト、塘路湖畔、細岡展望台(釧路湿原)、多和平
 - 7/16 白糠区 林内見学、植生観察、十條製紙
 - 7/17 雌阿寒温泉周辺の森林、オンネトー、阿寒ビジターセンター
 - 7/18 標茶区 林内見学、植生観察、講義、レポート、解散

1992 大島誠一助教授、赤尾健一助手
川那辺三郎教授、酒井徹朗講師、寄元道德助手
学生等18名

演習林実習(見学旅行)

7/6 札幌集合 清楓荘 (札幌クローネ会懇親会)
7/7 札幌—美唄 道立林業試験場 (野幌森林公園、開拓記念館)
7/8 美唄—層雲峽 層雲峽YH (道立林業試験場)
7/9 大雪山 層雲峽YH (黒岳、北鎮岳登山)
7/10 層雲峽—斜里 (知床自然観察教育林)
7/11 斜里 (斜里町自然センター)
7/12 斜里—標茶 標茶区 (川湯ビジターセンター、硫黄山、摩周湖、多和平)

演習林実習(北海道演習林)

7/13 標茶区 林内見学、植生観察、樹木実習
7/14 標茶区 毎木調査(10林班)
7/15 白糠区 林内見学、植生観察、本州製紙
7/16 パイロットフォレスト、釧路湿原(細岡展望台)、レポート、解散

1993 小橋澄治教授、柴田昌三講師
酒井徹朗助教授、寄元道德助手
学生等18名

演習林実習(見学旅行)

7/19 札幌集合 清楓荘 (札幌クローネ会懇親会)
7/20 札幌—富良野 東大北海道演習林 (野幌森林公園、開拓記念館)
7/21 山部—白金温泉 (東大北海道演習林)
7/22 白銀温泉—層雲峽 (十勝岳火山砂防、環境庁管理官による講義)
7/23 大雪山 (黒岳、御鉢平一周)
7/24 層雲峽—斜里 (知床自然センター)
7/25 ウトロ—標茶 (知床五湖周辺、川湯周辺)

演習林実習(北海道演習林)

7/26 標茶区 林内見学、植生観察、樹木実習
7/27 標茶区 毎木調査(10林班)、多和平
7/28 白糠区 林内見学、植生観察、野生生物保護センター、釧路湿原
7/29 日本製紙、パイロットフォレスト、レポート作成、解散

1994 竹内典之教授、大手信人助手
酒井徹朗助教授、寄元道德助手
学生等16名

演習林実習 I (見学旅行)

7/19 札幌集合 清楓荘 (札幌クローネ会懇親会)
7/20 札幌—洞爺湖 (森林総研北海道支所、定山溪理水試験地)
7/21 洞爺湖—札幌 清楓荘 (有珠山火山砂防、支笏湖)
7/22 札幌—旭川 大雪荘 (野幌森林公園、開拓記念館)
7/23 旭川 大雪荘 (木製サッシ工場、広葉樹製材工場、道林産試験場、北方野草園、日本製紙)
7/24 旭川—層雲峽 上川営林署保養所 (黒岳登山、環境庁管理官による講義)
7/25 層雲峽—美幌 標茶区 (屈斜路湖、アカエゾマツ林、川湯ビジターセンター、摩周湖)

演習林実習 I (北海道演習林)

7/26 標茶区 林内見学、植生観察、樹木実習、毎木調査(ヤチダモ天然林)
7/27 パイロットフォレスト、厚岸道有林、霧多布湿原
7/28 白糠区 林内見学、植生観察、札鶴ベニヤ、標茶町郷土館
7/29 標茶区除伐実習、レポート作成

7/30 解散

1995 吉田博宣教授、金子隆之助手、中西麻美助手
酒井徹朗助教授、濱本なお助手、寄元道徳助手
学生等14名

演習林実習Ⅰ(見学旅行)

7/19 札幌集合 (札幌芸術の森、札幌市立高等専門学校、クローネ会)
7/20 札幌 大雪荘 (野幌森林公園、開拓記念館、環境科学研究センター)
7/21 札幌—支笏湖 大雪荘 (樽前山、苔の洞門)
7/22 札幌—層雲峡 上川営林署保養所 (層雲峡博物館、大函・小函)
7/23 層雲峡 上川営林署保養所 (大雪山黒岳、御鉢平一周)
7/24 層雲峡—標茶 標茶区 (阿寒湖畔、オンネトー、川湯ビジターセンター、摩周湖)

演習林実習Ⅰ(北海道演習林)

7/25 標茶区 林内見学、植生観察、樹木実習、カラマツ人工林除伐作業
7/26 白糠区 林内見学、植生観察、日本製紙・野生生物保護センター・釧路湿原見学
7/27 パイロットフォレスト、ログハウス組み立て
7/28 ログハウス組み立て、レポート作成
7/29 朝解散

1996 竹内典之教授、柴田昌三講師
竹内典之教授、中島皇助手、濱本なお助手
学生等22名

演習林実習Ⅰ(見学旅行)

7/22 苫小牧集合 清楓荘(北大苫小牧演習林)
7/23 札幌—美幌 標茶区 (美幌峠、屈斜路湖、摩周湖)

演習林実習Ⅰ(北海道演習林)

7/24 標茶区 植生観察・樹木実習(5・7林班)、カラマツ人工林除伐作業(9林班)
7/25 白糠区 林内見学、植生観察、野生生物保護センター、釧路湿原
7/26 パイロットフォレスト、多和平、講義(柴田・中島・濱本)、レポート作成
7/27 朝解散

1997 大島誠一教授、小崎隆教授(土壌学)、矢内純太助手(土壌学)
中島皇講師、濱本なお助手
学生等13名

生物環境科学実習Ⅱ

7/21 標茶集合 概要説明、講義(大島・中島)「標茶周辺の森林帯と気候帯」
7/22 多和平、藻琴山登山、川湯森林施業実験地、摩周湖、講義(大島)「密度管理と除伐・間伐」
7/23 植生観察・樹木識別実習(5・7林班)、除間伐実習(選木作業)(6林班)、選木結果の判定
7/24 除間伐実習(伐採、測定)、林内見学、土壌断面観察、データ整理・解析、講義(濱本)「道産材の流通」
7/25 パイロットフォレスト、日本製紙、野生生物保護センター、レポート作成
7/26 朝解散

1998 大島誠一教授、矢内純太助手(土壌学)、菊池晃二教授(帯畜大)、大淵清志((株)ズコーシャ)
中島皇講師、濱本なお助手
学生等23名

生物環境科学実習Ⅱ

7/24 層雲峡集合 層雲峡YH (講義(環境庁:築島)「大雪山国立公園の概要」)

7/25 大雪登山 層雲峡YH (黒岳、雲の平、北鎮岳)

7/26 層雲峡—北見 標茶区 (オホーツク木のプラザ、美幌峠、屈斜路湖、概要説明、講義(大島・中島)「北海道の森林帯と気候帯」)

7/27 植生観察・樹木識別実習(5・7林班)、除間伐実習(選木作業)(8林班)、講義(大島)「密度管理と除伐・間伐」

7/28 多和平、林内見学、チェーンソー実習、選木のデータ整理と解析、講義(濱本)「道産材の利用・釧路湿原国立公園」

7/29 パイロットフォレスト、厚岸集成材工場、細岡湿原展望台

7/30 摩周湖、根釧農業試験場、土壌断面観察、レポート作成

7/31 朝解散

実 習

() 内は女子で内数

年度別	林学3	林学2	林学1、4	他学科	他学部	院生等	合 計
1979	4	4	4 (1)			4	16 (1)
1980	14		1	2 (1)		1	18 (1)
1981	13 (1)	1		1			15 (1)
1982	13	2		7 (2)		1	23 (2)
1983	14 (2)		4			2	20 (2)
1984	14						14
1985	16						16
1986	18 (2)						18 (2)
1987	19 (2)	12 (2)					31 (4)
1988		16 (1)		1 (1)			17 (2)
1989		17 (4)					17 (4)
1990		20 (5)					20 (5)
1991	1	13 (1)		3			17 (1)
1992		17 (3)					17 (3)
1993		17 (4)		1			18 (4)
1994		14 (6)	1			1	16 (6)
1995		13 (7)		1			14 (7)
1996		22 (10)					22 (10)
1997	9 (3)	3		1			13 (3)
1998	15 (4)	6 (1)		1 (1)	1 (1)		23 (7)
合 計	150 (14)	177 (44)	10 (1)	18 (5)	1 (1)	9	365 (65)

表1-1

見 学

() 内は女子で内数

年度別	林学3	林学2	林学1、4	他学科	他学部	院生等	合 計
1979	4	4	4 (1)			4	16 (1)
1980	14		1	2 (1)		1	18 (1)
1981	13 (1)	1		1			15 (1)
1982	5	4		5 (2)		2	16 (2)
1983	8 (2)		4	1			13 (2)
1984	14	5				4	23
1985	16						16
1986	12 (2)						12 (2)
1987	19 (2)	12 (2)					31 (4)
1988		16 (1)		1 (1)			17 (2)
1989		16 (1)					16 (1)
1990		20 (5)					20 (5)
1991	1	13 (1)		3			17 (1)
1992		17 (3)					17 (3)
1993		17 (4)		1			18 (4)
1994		14 (6)	1			1	16 (6)
1995		12 (6)		1			13 (6)
1996		22 (10)					22 (10)
1997	9 (3)	3		1			13 (3)
1998	15 (4)	6 (1)		1 (1)	1 (1)		23 (7)
合 計	130 (14)	182 (40)	10 (1)	17 (5)	1 (1)	12	352 (61)

ア ル バ イ ト

() 内は女子で内数

年度別	林学3	林学2	林学1、4	他学科	他学部	院生等	合 計
1979						1	1
1980	12			2 (1)			14 (1)
1981	2	1		1			4
1982	1	2		3			6
1983	4		1				5
1985	6						6
1986	8						8
1989		1					1
合 計	33	4	1	6 (1)		1	45 (1)

表1-2

おわりに

今回の実習記録のまとめは北海道演習林の学生実習実施記録³⁾、学生実習感想記⁴⁾ (いずれも内部資料)によった。この実習は当時の北海道演習林長・和田茂彦教授と林学科の教官の方々の努力によって始められた。和田教授は2度目の北海道演習林長の職にあった際、実習の記録等の散逸を防ぐために実施資料の収集や感想記の作成を提案された。松下幸司助手、山田容三助手は、それに応えて感想記の作成に尽力された。当時の北海道演習林のスタッフに敬意を表したい。以後、多少の変化はあるものの現在までこの形式は堅持され、貴重な資料になっている。資料については不足している部分もあり、正しい情報・記録をお持ちの方は是非とも提供して頂きたい。最後に、学生数等のデータの拾い出し及び表は、業務掛の長谷川孝技官によるものである。記して謝意を表す。

引用文献

- 1) 安藤信(1993) 戦前期の外地演習林における学生実習(1) -台湾見学旅行日誌- 京大集報25, 141-156
- 2) 安藤信(1994) 戦前期の外地演習林における学生実習(2) -台湾演習林の植物調査- 京大集報26, 156-183
- 3) 北海道演習林(1977~1998) 学生実習実施資料
- 4) 北海道演習林(1988~1998) 学生実習感想記